



草薙祭～おもてなしの心で～



7月2日に児童会主催の「草薙祭」を行いました。

オープニングは、1年生のおみこし。クラスごとに作った豪華なみこしが登場。子どもたちの「わっしょい！」の元気なかけ声に、全校児童は一気に祭モードに突入しました。



その後は、2年生以上の各クラスがそれぞれの店（ブース）を出し、全校で楽しみました。エンディングは、当校の伝統活動「草薙龍」（昭和54年に始まり、今年で37年目を迎えました）の上演で、3・4年生100名が迫真の演技を披露しました。



この「草薙祭」には、見附特別支援学校、幼稚園・保育園、デイサービスセンター、保護者や祖父母の皆さん、地域の方々からたくさん参加いただきました。「とっても楽しかった！」「もっと回りたかったけど時間が足りなくて残念！」「子どもってよく考えますね。すばらしい！」「子どもたちが遊び方を説明してくれて分かりやすかった！」「ホーラーハウスやお化け屋敷はこわくて、でも面白かった！」等の声がたくさん聞かれました。



子どもたちは、園児から小学生、大人まで幅広い年代のたくさんのお客様に喜んでもらえるように、みんなで協力して楽しい催しや遊び方を工夫しました。また、ルールがよく分かるように、順序立てて分かりやすく話していました。「人に喜んでもらえるように」よく考える、ものを作る、丁寧に説明する。そして、お客様が喜んでる姿を見て、「自分（たち）も喜びを感じる」。こんなすばらしい姿が、どのクラスでも見られ、本当に嬉しく思いました。



夏休みには、お客さんや地域の方とふれ合うことも多くなるでしょう。その際、「その子なりの態度で言葉遣いを考え話せること」「思いやりをもって人と接すること」など、そういった力も伸ばしてほしいと願っています。